

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和7年11月11日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和7年11月11日（火） 13時30分～14時00分
開催場所	大会議室2-1
出席者職氏名	<p>【政策推進会議メンバー】</p> <p>松井市長公室長、外立総合行政部長、豊島総務部長、松田政策推進課長、尾崎人事課長、伊東財政課長</p> <p>【担当部課】</p> <p>今野教育政策部長、桜谷柳瀬川図書館長</p> <p>【関係部課】</p> <p>竹田いろは遊学図書館長</p> <p style="text-align: right;">（計9人）</p>
欠席者職氏名	（計 0人）
説明員職氏名	桜谷柳瀬川図書館長 （計 1人）
議 題	第四次志木市子ども読書活動推進計画の素案について
結 果	担当課の提案どおりとし、策定に向けて進めていく。

事務局職員職氏名	矢野政策推進課主任、山口政策推進課主事補
その他必要事項	
会議内容の記録（会議経過、結論等）	
<p>1 開会</p> <p>松田政策推進課長が開会を告げる。</p> <p>2 審議事項</p> <p><第四次志木市子ども読書活動推進計画の素案について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜谷柳瀬川図書館長より概要を説明後、審議を行った。 <p>○概要説明</p> <p>（1）背景・目的</p> <p>「第三次志木市子ども読書活動推進計画」の計画期間が、令和7年度末をもって終了することから、今後5年間の指針となる「第四次志木市子ども読書活動推進計画」を策定するものである。前計画を引継ぎ、子どもの読書環境を整備し、自ら読書に親しみ、読む楽しさ、調べる楽しさ、知る楽しさを味わうことで、読解力、思考力、表現力を磨き、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むことを目的とし、読書活動の更なる推進を目指すものである。</p> <p>（2）基本的な考え方と進め方</p> <p>『すべての志木っ子に読書の喜びを』を基本理念とし、基本方針を5つ、重点目標を3つ掲げており、子ども読書活動に関わる組織である「図書館」「学校」「地域」「家庭」が主体となって様々な施策に取り組むものである。PDCA サイクルにより進行を管理し、年度ごとに推進状況調査を行うとともに、その調査結果を踏まえ、子ども読書活動推進関連の会議を開催して具体的施策の推進状況を確認する。また、志木市立</p>	

図書館協議会において点検・評価を実施し、必要に応じて、計画の見直しと改善を図る。

(3) 計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

メンバー：四次計画から新しくなった点は何か。

担当部課：目指す考え方を明確にするために新たに「基本理念」を掲げ、5つの基本方針に基づき、3つの「重点目標」を定めた。具体的な施策としては、多様な子どもたちへの読書機会の提供のため、すべての子どもが読書を楽しめるバリアフリーに配慮した図書を集めた本棚「リンゴの棚」の設置や、外国語を母国語とした子どもへの多言語対応などを盛り込んだ。

メンバー：どのような会議を経て、本計画案は作成されたのか。

担当部課：関係課の主幹級以上の職員で構成する志木市子ども読書活動推進会議、市民を構成員に含む図書館協議会にて協議を行い、本計画案の作成を行った。

メンバー：本計画内に記載のある内容で新規で予算が必要となるものはあるか。

担当部課：予算が必要となる新規取組はない。

メンバー：本計画内に記載のある事業について、関係課との調整はどのようになっているのか。

担当部課：一部調整中の部分もあるが、調整済みである。また、意見公募までには改めて全庁的に照会を依頼する予定である。

メンバー：本計画内に記載のある内容で、関係課が存在するものに関しては、確実に確認と調整を行い、問題なく実施できることを確認してから意見公募を行

ってほしい。

担当部課：承知した。

○結論

担当課の提案どおりとし、策定に向けて進めていく。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。